

1) 新機能について

RTA50iのプログラム Rev.3.03.34 から、NTTの付加サービス「i・ナンバー」に対応し、複数のプロバイダに同時に接続する機能が追加されました。

NTTの有料サービスであるi・ナンバーに対応するため、TELポートへi・ナンバーのポート番号が自由に設定できるようになりました。ポート番号は「かんたん設定ページ」で設定することができます。i・ナンバーをご使用になるにはNTTとの契約が必要です。

「複数プロバイダ選択」機能を用いると、メール専用とそれ以外の接続先プロバイダをそれぞれ指定したり、LAN上のコンピューター台ごとに接続先プロバイダを割り当てたりすることが可能になります。この機能はRTA50iの「かんたん設定ページ」におけるルータとして使用する形態の「端末型接続設定」の拡張として扱われるため、TAとして使用する場合や、ネットワーク型接続では使用できません。また自動接続でも手動接続でもこの機能をご使用できません。

これらの機能をご使用になる場合には、自動発信の機能をよくご理解の上ご使用ください。RTA50iをパソコンやLANに接続した場合、RTA50iはパソコンのアプリケーション（メールソフト、ブラウザなど）が送信するデータやLAN上を流れるデータの宛先を監視し、本体に設定された内容に従って自動的に回線への発信を行います。そのため設定間違い、回線切断忘れ、ソフトウェアが定期送信パケットを発信していたなどの場合には予想外の回線使用料やプロバイダ接続料金がかかる場合があります。次のようなケースでは、通信履歴や課金額を時々調べて、意図しない発信がないか、また課金額が適当であるかどうかにご留意ください。

RTA50iを使い始めた時

RTA50iの設定を変更した

パソコンに新しいソフトウェアをインストールした

ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続した

RTA50iのプログラムをアップデートした、変更した

その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じたなど

自動発信については下記 URL もご参照ください。

<http://www.rupro.yamaha.co.jp/RTA50i/FAQ/unknown-connect.html>

2) i・ナンバー 設定手順

かんたん設定ページからの設定手順

- 1 パソコンからブラウザを開いて、かんたん設定ページへアクセスします。
- 2 [電話設定] を押し、画面下の [オプション設定] ボタンを押します。
「オプション設定」ページが表示されます。
- 3 TEL ポートを選択し、[選択] ボタンを押します。

- 4 画面下の [着信する i・ナンバーのポート番号] 欄のポートの 1, 2 をチェックし、[登録] ボタンを押します。
着信番号として契約者回線番号を使う場合には "1" を、i・ナンバー用番号を使う場合は "2" を、両方を使う場合は 1 と 2 をチェックします。工場出荷設定では、TEL1ポートは1のみチェック、TEL2ポートは2のみチェック、TEL3ポートはチェックなしになっています。

- 5 手順 3 で選択しなかった他の TEL ポートに対しても、手順 3、4 を繰り返します。

電話機からの設定手順

1 受話器をあげます。

2 [*] と [#] を押します。

⊗ ⊕

3 機能番号 8 1 を押します。

⑧ ①

4 TEL ポート番号を押します。

TEL ポート番号は、TEL1=1、TEL2=2、TEL3=3 です。

[*] を押すと今お使いの TEL ポートに設定されます。

② (TEL2 ポートの場合の例)

5 i・ナンバーのポート番号を押します。

着信番号として契約者回線番号を使う場合には " 1 " を、i・ナンバー用番号を使う場合は " 2 " を押します。両方を着信させたい場合には " 1 2 " を押します。

① (契約者回線番号の場合の例)

② (i・ナンバー用番号の場合の例)

① ② (両方着信させる場合の例)

6 [#] を押します。

"ピー" という音が聞こえ、設定が変更されます。設定内容が適切でなかったり、正常に変更されなかったときは、"ピー、ピー" と聞こえますので、設定内容を確認してから、もう一度手順 3 から操作してください。

⊕

7 受話器を置きます。

続けて設定するときは、受話器をあげたまま手順 3 ~ 6 の操作を繰り返します。

3) 複数プロバイダ選択機能 設定手順

複数プロバイダ選択機能に関する設定を行う前に、本機に契約したプロバイダをすべて登録しておいてください。設定手順の詳細は、取扱説明書第2章「ルータのダイヤルアップ接続設定」を参照してください。

注意1) 同一のプロバイダに対して複数の登録は行わないでください。

注意2) フィルタ番号の50～79番は本機能のために予約されていますので使用しないでください。

メール専用のプロバイダとそれ以外のプロバイダを区別する場合

- 1 パソコンからブラウザを開いて、かんたん設定ページへアクセスします。
- 2 [端末型接続] を押します。
「端末型接続設定」ページが表示されます。
- 3 [自動接続設定] は [する] を選び、「複数プロバイダ選択」は [する] を選択します。
「メール専用のプロバイダ選択」を選択して、[複数プロバイダ選択の設定 / 修正] ボタンを押します。

RTA50i

トップページ ネット型 電話 料金 システム

端末型接続設定

プロバイダの登録

| プロバイダ名 | |
|--------------|-------|
| 1 PROVIDER-1 | 登録の修正 |
| 2 PROVIDER-2 | 登録の修正 |

複数プロバイダ選択をする で設定されたプロバイダのみ接続が可能です。

プロバイダの追加

プロバイダの削除

1 PROVIDER-1 ▼ プロバイダの削除

自動接続設定

自動接続を しない する **自動接続設定**

自動接続をする に設定すると、コンピュータからインターネットへアクセス（ブラウザやメールなど）が発生した時コンピュータやルータの設定/運用によっては、意図しない接続や長時間の接続による異常課金となる場合があります。

複数プロバイダ選択

複数プロバイダ選択を しない：自動接続をする場合の接続先 1 PROVIDER-1 ▼

する **メール専用のプロバイダ選択** ▼

複数プロバイダ選択の設定/修正

現在の接続状態の確認

回線は接続していません。

最新情報に更新します。ブラウザの再読み込み/更新ボタンでも更新されます。

更新

- 4 [メール専用のプロバイダ]を選択し、送信用のサーバ名と受信用のサーバ名を入力します。
- [メール以外のプロバイダ]にはその他すべてのアプリケーションを使用した場合の接続先プロバイダを設定します。

YAMAHA

端末型接続設定：メール専用のプロバイダ選択

意図しない課金や接続を防ぐために、登録後には設定した通りの動作が行なわれることを確認してください。

メール専用のプロバイダ

| | |
|--------------------|---------------------|
| 接続先 | 1 PROVIDER-1 |
| メール送信用 (smtp) サーバ名 | smtp.provider.ne.jp |
| メール受信用 (pop) サーバ名 | pop.provider.ne.jp |

サーバ名の欄にIPアドレスを直接指定することはできません。

メール以外のプロバイダ

| | |
|-----|--------------|
| 接続先 | 2 PROVIDER-2 |
|-----|--------------|

登録 キャンセル

- 5 [登録] ボタンを押して、設定を保存します。

コンピュータ (IP アドレス) 毎にプロバイダ変更する場合

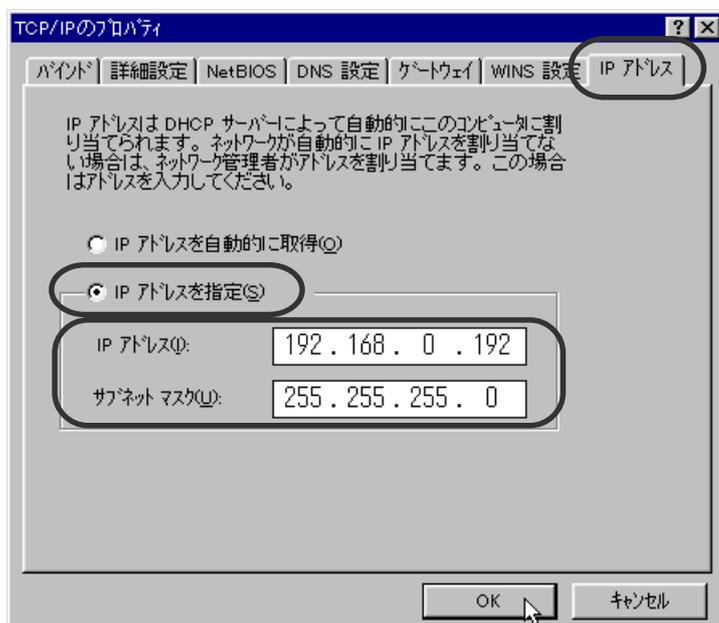
まず、LAN上のすべてのコンピュータのIPアドレスを固定で設定し、その後、本機の複数プロバイダ選択に関する設定を行います。

LAN 上の Windows コンピュータの IP アドレスの設定

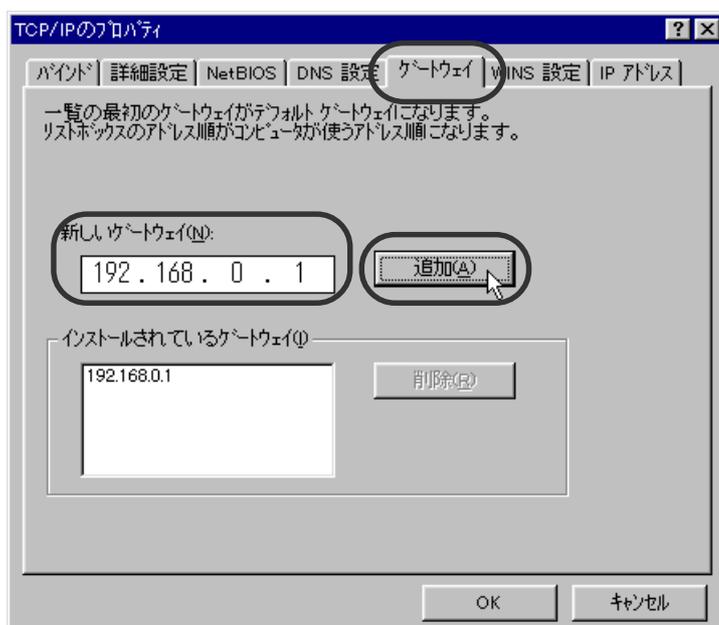
- 1 [マイコンピュータ]の[コントロールパネル]の[ネットワーク]を開き、リストの中の " TCP/IP->(ネットワークカードの名称) " を選択して[プロパティ]ボタンを押します。



- 2 [IP アドレス] タブを押し、[IP アドレスを指定] を選択します。IP アドレスとサブネットマスク欄にWindowsコンピュータのIPアドレスとネットマスクを入力します。本機の IP アドレスが工場出荷状態の場合は、Windows コンピュータの IP アドレスは 192.168.0.192 から 192.168.0.254 の範囲で設定します。



- 3 [ゲートウェイ] タブを押し、[新しいゲートウェイ] に本機の IP アドレス (工場出荷状態では 192.168.0.1) を入力し、[追加] ボタンを押します。



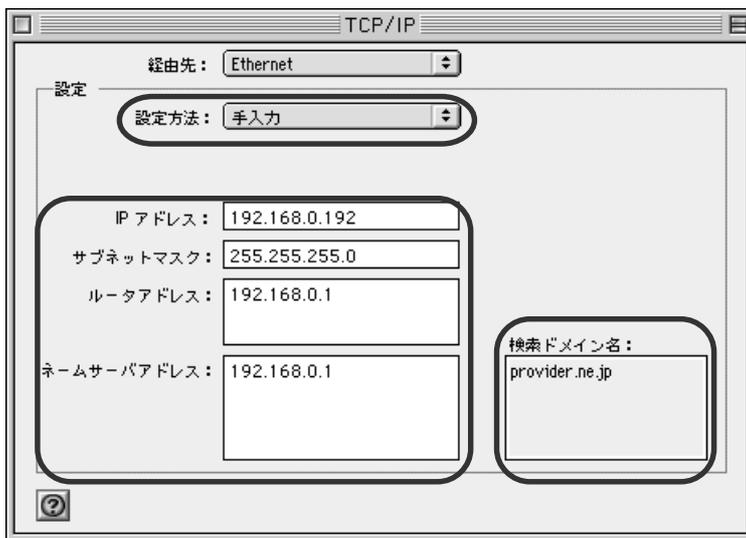
- 4 [DNS 設定] タブを押し、[DNS を使う] を選択します。[ホスト名] に Windows コンピュータの名前を、[ドメイン] に接続するプロバイダのドメイン名を、[DNS サーバーの検索順] には本機の IP アドレス (工場出荷設定では 192.168.0.1) を入力し、[追加] ボタンを押します。



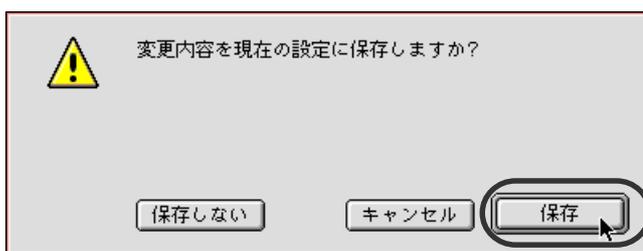
- 5 [OK] ボタンを押します。メッセージに従って再起動します。
- 6 LAN 上のすべての Windows コンピュータに対して上記 1 から 5 の手順を繰り返し、すべての Windows コンピュータが異なる IP アドレスとなるように設定します。

LAN 上の Macintosh の IP アドレスの設定

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開きます。
- 2 [設定方法] を [手入力] にし、[IP アドレス] には Macintosh の IP アドレスを、[サブネットマスク] にはネットマスクを、[ルータアドレス] と [ネームサーバアドレス] には本機の IP アドレス (工場出荷設定では 192.168.0.1) を、[検索ドメイン名] には接続するプロバイダのドメイン名を入力し、ウィンドウを閉じます。
本機の IP アドレスが工場出荷状態の場合は、IP アドレスは 192.168.0.192 から 192.168.0.254 の範囲で設定します。



- 3 確認のダイアログが現れたら [保存] ボタンを押します。



- 4 LAN 上のすべての Macintosh に対して上記 1 から 3 の手順を繰り返し、すべての Macintosh が異なる IP アドレスとなるように設定します。

本機の設定

- 1 パソコンからブラウザを開いて、かんたん設定ページへアクセスします。
- 2 [端末型接続] を押します。
「端末型接続設定」ページが表示されます。
- 3 [自動接続設定] は [する] を選び、「複数プロバイダ選択」は [する] を選択します。
「コンピュータ (IP アドレス) 毎にプロバイダ選択」を選択して、[複数プロバイダ選択の設定 / 修正] ボタンを押します。

The screenshot shows the configuration interface for the RTA50i device. At the top, there are navigation links: トップページ (Home), ネット型 (Network Type), 電話 (Phone), 料金 (Rates), and システム (System). The main content is divided into several sections:

- 端末型接続設定 (Terminal-type Connection Settings):**
 - プロバイダの登録 (ISP Registration):** A table with two rows. Row 1: PROVIDER-1, with a 登録の修正 (Edit Registration) button. Row 2: PROVIDER-2, with a 登録の修正 (Edit Registration) button.
 - A note: 複数プロバイダ選択をする で設定されたプロバイダのみ接続が可能です。 (Only the selected ISP can be connected when multiple ISP selection is enabled).
 - Buttons: プロバイダの追加 (Add ISP), プロバイダの削除 (Delete ISP).
- 自動接続設定 (Auto-connection Settings):**
 - 自動接続を しない する (Auto-connection: No Yes). A button labeled 自動接続設定 (Auto-connection Settings) is next to it.
 - A note: 自動接続をする に設定すると、コンピュータがインターネットへアクセス (ブラウザやメールなど) が発生した時コンピュータやルータの設定 / 運用によっては、意図しない接続や長時間の接続による異常課金となる場合があります。 (When auto-connection is enabled, when a computer accesses the Internet (browser or mail, etc.), depending on the computer or router settings/operation, unintended connections or long-term connections may result in abnormal charges).
- 複数プロバイダ選択 (Multiple ISP Selection):**
 - 複数プロバイダ選択を しない : 自動接続をする場合の接続先 1 PROVIDER-1 (Multiple ISP selection: No: connection destination when auto-connection is enabled: 1 PROVIDER-1).
 - する コンピュータ (IPアドレス) 毎にプロバイダ選択 (Multiple ISP selection: Yes: select ISP for each computer (IP address)).
 - A button labeled 複数プロバイダ選択の設定 / 修正 (Multiple ISP selection settings / modification) is below.
- 現在の接続状態の確認 (Check current connection status):**
 - 回線は接続していません。 (The line is not connected).
 - A note: 最新情報に更新します。ブラウザの再読み込み / 更新ボタンでも更新されます。 (Update to the latest information. Refresh / update button in the browser also updates).
 - Buttons: 更新 (Update), キャンセル (Cancel).

4 コンピュータのIPアドレスを入力し、インターネットアクセスする場合の接続先プロバイダを選択します。

[上記コンピュータ以外の接続先]にはLAN上のその他すべてのコンピュータの接続先プロバイダを設定します。

メール着信確認機能を使用する場合には、[ルータによるメール着信確認先]にメールサーバのあるプロバイダを選択します(メールサーバの登録は、[システム管理]ページの[メールサーバの登録]画面で設定してください)。

YAMAHA

端末型接続設定：コンピュータ（IPアドレス）毎のプロバイダ選択

意図しない課金や接続を防ぐために、登録後には設定した通りの動作が行なわれることを確認してください。

| コンピュータのIPアドレス | 接続先プロバイダ |
|-----------------|--------------|
| 1 192.168.0.192 | 1 PROVIDER-1 |
| 2 192.168.0.193 | 2 PROVIDER-1 |
| 3 | なし |
| 4 | なし |
| 5 | なし |
| 6 | なし |
| 7 | なし |
| 8 | なし |

上記コンピュータ以外の接続先 2 PROVIDER-2

ルータによるメール着信確認先 1 PROVIDER-1

登録 キャンセル

5 [登録] ボタンを押して、設定を保存します。